

# 退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

☎020-0022 盛岡市大通一丁目1-16岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.starfree.jp/>  
発行・編集責任者 川村 元

## 表紙の写真

### ●退教互企画旅行●

#### 「韓国・ソウル4日間の旅」 (2024. 10. 27~30)

コロナ禍明けの海外旅行「再開第1号」となった企画旅行には10名が参加されました。

秋の深まりのなか4日間通して穏やかな天候に恵まれ、朝鮮時代の王宮である景福宮、大統領官邸・青瓦台などの名所を見学…現地のソウル料理も堪能されたようです。

右の写真は、歴史ある街・水原（スウォン）での1枚…ユネスコ世界文化遺産・水原華城（スウォンファソン）などを見学したあと、城壁の一部となっている「八達公園」（パルタル）で撮影されました。

韓国の歴史と文化に触れ充実した旅となったようです。



〈水原・八達公園にて〉



〈世界遺産・水原華城にて〉

## 目次

保険証等が変わられたら……………	2
地区活動報告……………	3
公益文化事業／囲碁大会……………	4
地区活動交流会／陳情行動……………	5
会員からのお便り……………	6
おくやみ欄……………	7
満100歳を迎えられた方々／住所・電話番号 の変更はありませんか？／あとがき……………	8

# 健康保険証等が変わられたら……

毎年4月は退職、就職、任意継続期間満了など  
ご加入の健康保険が変わる方が多い時期です。



ご加入の健康保険が変わった方は、必ず退教互へ「**新しい保険証等のコピー**」の送付をお願いします。

マイナ保険証に紐づけしている方には「**資格情報のお知らせ**」が交付され、紐づけしていない方には「**資格確認書**」が交付されますので、その際にはそれらのコピーも送付いただきますようお願いします。

上記のほか、新たに「特定医療費（指定難病）受給者証」、「自立支援医療受給者証」、「肝炎治療受給者証」、「特定疾病療養受療証」、「限度額適用・標準負担額減額認定証」、「重度心身障がい者医療費受給者証」等の交付を受けている方は、その受給者証等も一緒にコピーのご提出をお願いします。

◎退教互事務局 ☎019-623-3300 FAX 019-623-3349 (FAXでの送信可)

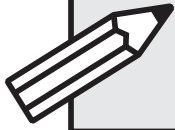
**保険証の種類によって、退教互の給付の受け方、受診要領が異なります。**

<p>ご加入の健康保険が…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国民健康保険</li> <li>○全国健康保険協会 管掌健康保険 (協会けんぽ)</li> <li>○後期高齢者医療</li> <li>※岩手県内発行の保険証</li> </ul>	<p><b>自動給付</b></p> <p><b>黄色の 会員証交付</b></p>	<p><b>病院等での支払いは不要</b></p> <p>一部負担金は退教互が会員の皆様に代わって病院等へお支払いします。</p> <p>療養費控除額については後でお届けの口座から引き落としします。</p> <p>※歯科医院では請求手数料として220円を窓口でお支払いする必要があります。</p>
--	--	--

※上記の健康保険加入者であっても次に該当する場合は請求給付となります。

- ①岩手県外の保険証である場合
- ②岩手県外の医療機関で受診する場合

<p>ご加入の健康保険が…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○共済組合 (公立学校・市町村)</li> <li>○組合管掌健康保険</li> <li>○船員保険</li> <li>○公的医療費受給者</li> </ul>	<p><b>請求給付</b></p> <p><b>ピンク色の 会員証交付</b></p>	<p><b>個人で窓口会計</b></p> <p>一部負担金は個人で支払い。退教互へ請求して給付を受けます。</p> <p>療養費控除額及び健康保険等から払い戻される医療費を差し引いた金額を給付します。</p>
---	--	---



## 東磐井地区活動報告

コロナが5類になったことにより、2024年度はやっと本来の地区活動に戻った年となりました。

10月21日には、一関市川崎町の北上川堤防芝生地において、グラウンドゴルフ大会を昨年に引き続き開催しました。大会は気持ちいい秋晴れの空の下で、初心者からプロ級までの参加者24名が、8ホール3ラウンドで熱戦を繰り広げました。

「ナイスショット!」「おいしい~!」などの声がグラウンドに響き、終始笑顔があふれる和やかなムードのなかで、和気あいあいと楽しくプレーができました。



軽快なショット!



ボールを打つ緊張の瞬間

11月13日には講演会を行いました。コロナ禍以前は、暮らしに直接役立つ内容（健康・終活・福祉等）を取り上げてきましたが、今年度は地元の歴史の素材を中心に紙芝居という手法でわかりやすく実演している本地区の会員、川崎の内田正好さんをお願いをしました。

内容は北上川水系千厩川の深刻な水害の問題でしたが、この地方のお国言葉満載で、涙あり笑いありのあつという間の1時間でした。高校在任時代の同僚とのエピソードや、紙芝居ができるまでの挿絵担当の方とのやりとりなども交えた巧みな話術に、会場は笑いの渦に巻き込まれ和やかな集まりとなりました。



紙芝居で講演される内田正好さん



講演会風景

# 2024年度 公益文化事業



2024年度の公益文化事業は、岩手教育会館、岩手県教職員互助会、岩手県高校教育会館との共催により、9月は「いしがきミュージックフェスティバル」、11月に「岩手教育芸術祭美術展、コーラスネットワークいわてコンサート」、12月には「辺真一講演会」を開催し、沢山の方々にご来場いただきました。

## 第53回岩手教育芸術祭美術展入賞者（敬称略）

	絵画	書道	写真
芸術祭賞	高橋 邦法 (紫 波)	雨森 英明 (山王小)	達下 進 (奥 州)
優 秀 賞	三田 聡子 (不来方高)	川口 凜々 (盛岡南高)	河東田康昭 (奥 州)
	阿部 龍一 (北上南中)	*****	*****
奨 励 賞	富田喜平司 (二 戸)	寺崎 良謙 (平 泉)	中嶋 敬治 (大船渡)
	佐藤 榮一 (二 戸)	小森若加子 (二 戸)	千葉 洋一 (滝 沢)
	溝口 昭彦 (盛 岡)	八木橋ひろみ (盛 岡)	山崎 三枝 (盛 岡)
	谷藤真由美 (花 巻)	横田 朗子 (北桜高)	黒田 隆治 (盛 岡)
	佐藤 民雄 (盛 岡)	吉田 充 (安代小)	北井崎 昇 (盛 岡)

## 全国教職員囲碁大会岩手県予選 / 全国大会

岩手県予選は、2024年10月30日に岩手教育会館を会場に開催されました。各地区からの選抜及び推薦者の参加によって、白熱した戦いが繰り広げられ、下記の方々が入賞されました。（敬称略）

その結果、本年1月6日に日本棋院会館で開催された全国大会には、各部門の代表3名が出場され、残念ながら入賞者はありませんでしたが、岩手県代表としてご健闘されました。（※全国大会出場者）



	名人戦の部	段位戦の部	級位戦の部
優 勝	松本 明良 五段(稗 貫)※	槻館 行男 三段(二 戸)※	菊池 市高 3級(盛 岡)
準優勝	皆川 修 六段(東磐井)	鈴木 明 二段(東磐井)	松川 邦夫 1級(紫 波)※
第三位	菅原 寛一 六段(胆 沢)	濱島 哲夫 三段(九 戸)	高橋 俊一 1級(胆 沢)

## 2024年度地区活動交流会開催・報告

本年度の地区活動交流会は、2024年11月29日に各地区の代表者の方々にご参集いただき開催されました。

各地区の活動報告や状況報告、地区活動に於いての課題や問題点、本部への質問・意見などを含めた意見交流が行われ、今後の活動への参考となる交流会になりました。

主な内容については下記の通りとなっております。



<p><b>現状の課題</b></p> <p>※報告の中で同じ課題が多かったものを載せています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新会員（退職者）の地区活動への参加が少ない。退職しても働いてる会員が多いので地区活動に参加できない状況がある。</li> <li>・地区役員、班長などを引き受けてくれる人がなかなか見つからない。</li> <li>・地区組織、地区活動の重要性等、年々会員の意識が薄らいでいる。</li> <li>・消息が不明な会員が多くなってきている。（施設入所等により）</li> <li>・現職と退職会員との意見交換の場が少ない。</li> </ul>
<p><b>今後に向けて</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区課題等に対し抜本的対策を議論していくことがさらに必要。（地区会長事務局長会議・地区活動交流会などで）</li> <li>・現職の方々に「退職互助活動」への理解啓発を行い、現・退が一丸となって退教互の維持・発展に取り組むことが大事。（現職会員拡大等）</li> <li>・今後、会員の生活安定の為にも、全教互陳情署名数を増やし社会保障制度の確立を求める声を増やしていかなければいけない。</li> </ul>

## 2024年度陳情行動

今年度も、現職退職会員の皆様に「全ての世代が安心して暮らせる持続可能な社会保障制度の確立と教職員が教育に専念できる環境整備を求める陳情」の署名活動にお取り組みいただきました。その結果、署名者数は15,722人（前年度比388人増）でした。

全国総計では378,621人分（前年度比2,716人減）が集約されています。

例年であれば毎年11月に署名簿を携え、衆・参議員会館を訪問し岩手県選出の国会議員への陳情訪問を行っているのですが、昨年秋に衆議院選挙が開催されたことから、今年度は盛岡市近郊を含めた4カ所の議員事務所へ、専務理事の川村、事務局高橋の2名で陳情を行ってきました。（2024. 12. 20）

陳情署名活動にお取り組みくださいました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。



署名用紙を手渡す川村専務理事（右）

会員からの  
おたより

## 「退教互のおかげ」を実感したこと

盛岡地区会員（66歳）



昨年の夏ごろから舌の側面に口内炎のような痛みを感じるようになりました。歯科治療で被せた金属で傷がついたのかもしれないと思い、かかりつけの歯科を受診しましたが、思いがけず専門科での検査を勧められました。その後、口腔外科で造影CT検査や組織検査を行った結果、悪性腫瘍との診断を受けて、岩手医科大学附属病院・頭頸部外科への紹介となりました。医大でも、追加でPET-CT検査やMRI検査などを行い、「舌がんステージ1」との診断を受けて入院・手術を行うことになりました。

幸い他への転移はなく、外科手術だけの治療ということでしたが、11月下旬に、舌にできた直径1cmほどの腫瘍を安全のために直径3cmほど切除しました。舌は神経や血管が多くあり、術後の食事管理も段階的に丁寧に行う必要があるため、入院は12月上旬までの約3週間となりました。

歯科～口腔外科～頭頸部外科へと、不安を抱えたまま診察・検査のために何度も通院しましたが、その都度病院での会計支払は「退教互なのでありません」と言われて安心でしたし、入院・手術の費用についても心配することなく治療に専念することができました。



退院時の書類を見ると、手術・入院費用の合計は103万円ほどでしたが、会計窓口での自己負担額（3割分）の支払もなく、通常は自分で行わなければならない高額療養費の請求手続きも退教互事務局でやっていただけるので本当に助かりました。実際にかかったのは、退教互の控除額3,000円（月額）と入院中の病衣代と食事代（保険適用外）の約3万円でした。現職時代に、病気を経験された先輩から「退教互のおかげで安心して治療ができた」という話を何度も聞いていましたが、自分で経験して「退教互のおかげ」を改めて実感することができました。

今回、退教互に加入していて良かったと実感するのは、他の共済や民間の医療保険で自己負担分を賄う場合、退院後に給付金を請求して受け取るまでの間自己負担分を一旦支払う必要がありますが、退教互に加入している場合はその心配もしなくて良いということです。また、一般の「がん保険」の場合「上皮内がん」だと給付がでないものがありますが、その場合、自分の病状が給付の対象になるのか、ならないのか、心配な場合があります。私の場合、給付の対象になることがわかったのが、手術で切除の際に患部を確認した時だと思いますが、実際にそのことを医師から聞いたのは退院時でした。退教互は保険適用の治療についての自己負担分をカバーしてくれるので、病状にかかわらず、自己負担分の心配をせずに、安心して治療が受けられると思えました。

今回の病気の経験から、退教互事務局の皆さんに感謝するとともに、これからも退職会員と現職の皆さんで協力して、退教互の維持・発展に取り組んでいくことができるといふ思いを強くしました。

■おくやみ申し上げます<敬称略>

会報100号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

【盛岡地区】				
山影	源吉	2024年	7月30日	90歳
森堂	愛羅	8月3日	91歳	
本堂	淳子	8月4日	99歳	
大槻	忠士	8月6日	91歳	
野村	武士	8月9日	81歳	
佐藤	ミヨ	8月20日	101歳	
田村	洋子	8月21日	90歳	
尾高	英修	8月22日	81歳	
橋高	よ	8月31日	66歳	
柏高	朔	9月1日	95歳	
田吉	敬充	9月2日	93歳	
谷中	司	9月5日	76歳	
原小	皓	9月10日	97歳	
野原	哲	9月10日	89歳	
嶋野	老	9月23日	92歳	
々々	夫	9月26日	90歳	
木守	常	9月26日	77歳	
根原	良	10月7日	81歳	
藤村	嘉	10月22日	90歳	
西田	允	10月25日	92歳	
和徳	二	10月25日	87歳	
田村	石	10月27日	87歳	
山川	玲	10月27日	86歳	
及觸	昌	10月30日	91歳	
	公	11月1日	59歳	
	子	11月9日	76歳	
	司	11月11日	89歳	
	子	11月12日	94歳	
	子	11月17日	93歳	
	意	11月17日	93歳	
	鴻	11月18日	77歳	
	勉	11月19日	95歳	
	ツ	11月22日	91歳	
	子	11月24日	91歳	
	卓	11月24日	91歳	
	孟	11月24日	91歳	
	節	11月27日	91歳	
	司	11月29日	73歳	
	孝	12月6日	101歳	
	イ	12月7日	91歳	
	敷	12月12日	79歳	
	紀	12月12日	79歳	
	文	12月19日	96歳	
	郎	12月29日	88歳	
	治	12月29日	88歳	
	助	12月31日	85歳	
	幸	2025年	1月5日	83歳
	庄	1月11日	77歳	
	憲	1月14日	96歳	
	和	1月16日	83歳	
	則	1月21日	102歳	
	生			
	忠			
	紫			
【岩手地区】				
沼里	由紀	2024年	8月25日	82歳
岩崎	工	8月29日	97歳	
高橋	ト	9月7日	107歳	
内川	隆	10月15日	95歳	
柳川	ち	11月4日	98歳	
藤伊	博	11月10日	74歳	
谷口	倉	2025年	1月14日	83歳
【紫波地区】				
池元	道	2024年	7月7日	95歳
久保	雄	8月28日	57歳	
	章	9月16日	94歳	
	潔	9月28日	95歳	
	昭	10月1日	91歳	
	子	10月28日	74歳	
	ミ	11月16日	78歳	
	勝	12月4日	97歳	
	郎	2025年	1月8日	74歳
	迪			
	和			
	吉			
【稗貫地区】				
桐野	廣	2024年	8月7日	89歳
山田	一	8月11日	62歳	

【稗貫地区】				
古見	英男	2024年	9月18日	97歳
小原	正徳	9月24日	101歳	
藤原	秀廣	10月14日	89歳	
高橋	志郎	10月17日	90歳	
島田	廣子	11月4日	93歳	
々々	康雄	11月20日	89歳	
大竹	啓二	11月26日	85歳	
伊藤	貞三	12月12日	98歳	
新久	郎	2025年	1月26日	90歳
【和賀地区】				
阿部	郁子	2024年	8月1日	97歳
高橋	雄	8月18日	87歳	
桑原	進	9月7日	91歳	
藤原	篤	9月27日	93歳	
伊藤	恵	9月30日	93歳	
高橋	玲	10月25日	80歳	
石橋	邦	11月7日	87歳	
石田	キ	11月9日	106歳	
山田	充	11月28日	90歳	
鈴木	茂	12月12日	91歳	
菅原	作	12月15日	93歳	
照井	民	12月25日	93歳	
曾我	正	12月27日	81歳	
城澤	謙	12月30日	85歳	
阿部	幸	2025年	1月27日	89歳
【胆沢地区】				
及川	弘	2024年	6月7日	91歳
後藤	正	8月22日	74歳	
佐々	木	8月23日	94歳	
山内	俊	8月24日	87歳	
藤森	思	9月2日	100歳	
大佐	淳	9月16日	90歳	
水野	仁	9月21日	93歳	
岩村	治	10月1日	98歳	
辻山	策	10月6日	99歳	
及川	ス	10月9日	86歳	
奥寺	平	10月12日	90歳	
烟中	茂	10月17日	89歳	
葉野	和	10月19日	104歳	
今野	健	10月21日	81歳	
石川	淳	10月27日	87歳	
石川	子	11月4日	95歳	
千葉	久	11月10日	84歳	
美枝	靖	11月29日	94歳	
小山	子	2025年	1月5日	73歳
山口	成	1月15日	87歳	
池田	泰	1月23日	94歳	
小藤	幸	1月27日	89歳	
遠藤	政	1月28日	98歳	
菊地	文	1月28日	92歳	
高橋	幸	2月2日	91歳	
【江刺地区】				
及川	重	2024年	10月26日	94歳
千田	幸	10月29日	92歳	
澤藤	全	11月27日	90歳	
小藤	清	11月28日	80歳	
菊地	ト	12月19日	92歳	
【西磐井地区】				
吉川	恒	2024年	7月3日	97歳
佐藤	啓	8月21日	85歳	
渡邊	司	8月21日	85歳	
藤勝	一	9月3日	87歳	
東郷	悦	10月8日	80歳	
阿部	恵	10月24日	89歳	
細川	子	10月25日	97歳	
橋英	雄	11月3日	83歳	
小野	良	11月16日	93歳	
寺司	邦	11月18日	76歳	
上野	洋	11月22日	91歳	
菊地	正	11月29日	93歳	
寒河	江	2025年	1月10日	71歳

【東磐井地区】				
及川	タ	2024年	8月2日	93歳
立谷	ミ	8月4日	78歳	
佐伯	信	9月18日	79歳	
長野	佳	10月10日	89歳	
穴戸	弘	10月24日	90歳	
鈴木	治	11月20日	98歳	
山形	榮	12月4日	102歳	
松岡	み	12月6日	102歳	
小原	昭	12月20日	92歳	
菅原	好	12月20日	92歳	
小山	時	2025年	1月11日	94歳
藤田	光	1月16日	82歳	
千工	隆	1月17日	79歳	
岩沢	健	2月5日	93歳	
【気仙地区】				
宮城	秀	2024年	8月29日	93歳
熊谷	守	8月30日	78歳	
鈴木	ユ	10月1日	96歳	
寺澤	キ	10月29日	94歳	
木正	直	11月12日	94歳	
石橋	木	11月18日	79歳	
藤村	子	11月29日	94歳	
千田	幸	2025年	1月5日	88歳
吉田	悠	1月8日	84歳	
【釜石地区】				
菊池	勝	2023年	9月14日	105歳
熊谷	哲	2024年	8月22日	92歳
【遠野地区】				
山口	協	2024年	9月29日	92歳
島田	平	10月23日	87歳	
新田	啓	11月13日	100歳	
藤原	静	2025年	1月13日	97歳
小川	フ	1月17日	98歳	
小野	毛	1月18日	95歳	
【宮古地区】				
田鎖	キ	2024年	6月30日	95歳
松本	ト	8月30日	94歳	
大久	保	9月30日	98歳	
堀合	剛	10月6日	83歳	
若狭	健	11月12日	81歳	
藤田	憲	12月29日	79歳	
【九戸地区】				
羽行	常	2024年	9月8日	99歳
阿部	利	9月13日	94歳	
市川	忠	12月12日	80歳	
久慈	信	12月28日	84歳	
【二戸地区】				
上岩	キ	2024年	8月23日	92歳
中嶋	敦	9月26日	67歳	
高瀬	キ	10月1日	96歳	
下又	繁	10月19日	93歳	
菅野	賢	10月28日	91歳	
東山	勝	11月14日	98歳	
菅原	政	11月19日	93歳	
沼井	廣	11月28日	94歳	
宮野	恭	12月8日	92歳	
佐々	木	12月11日	103歳	
平宗	夫	12月24日	89歳	
上山	國	12月25日	94歳	
【東京地区】				
宇野	進	2024年	9月14日	85歳
菊地	吉	12月19日	92歳	
清水	典	2025年	1月4日	87歳
【仙台地区】				
渡邊	平	2024年	12月2日	90歳
【青森県青森市】				
小林	幸	2024年	7月24日	99歳

# 寿

## 満100歳!! おめでとう ございます。

第100号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生日を迎えられましたので、ご紹介いたします。



及川 節子さん  
(西磐井地区)

大正13年2月4日生  
昭和59年3月  
千厩農業高校退職

高校勤務中は、卒業した生徒達が地域のリーダー達の仲間入りし活躍することを願い、定年退職後は、歴史豊かな中国・イスラエル等を旅し、白寿の年には大船渡の教え子達が全国から一関市に集まり、各地の演芸等を披露してもらい楽しい思い出ができたことに感謝しています。とお便りをいただきました。

千葉 民子さん  
(東磐井地区)

大正13年8月1日生  
昭和55年3月  
水沢小学校退職

通院するタクシーの車内での事です。「お客さん年齢はいくつですか?」と問われて「100歳ですよ…何歳にみえますか?」と逆に質問すると「うわーっ、たんまげだ…70代後半から80代前半に見えました」ですって。

退教互の皆様、大変ご苦勞様です。このような心のつながりが宝のように感じられます…ありがとうございます!と近況とお礼のお便りをいただきました。



松本 保さん  
(紫波地区)

大正13年8月16日生  
昭和59年3月  
一関第一高校退職

私は子供の頃からスポーツが大好きでした。小学4年生から始めたテニスを現在も楽しんでます。

教員退職後は、学習塾の経営とテニスの両方を85歳まで行いました。教職だけではなく私の「生きがい」となりました。

健康に恵まれたのが大きな要因だと感じています。とご本人からお便りをいただきました。



和田 トシさん  
(遠野地区)

大正13年8月20日生  
昭和56年3月  
遠野北小学校退職

遠野市内にある施設(ショートステイ・デイサービス)を利用しながら、職員の方々にお世話になっております。

家では、孫やひ孫に囲まれて、元気に楽しい日々を送っております。お元気なご様子を娘さんからお知らせいただきました。



立花 榮さん  
(稗貫地区)

大正13年9月7日生  
昭和60年3月  
八幡小学校退職

昨年末に体調を崩し入院しておりましたが、現在は自宅にて療養しています。

ベットで過ごす時間が多くなりましたが、新聞なども読み、日によって体調の変化もありますが、元気に過ごしています。と近況をご家族の方からお聞きしました。

ご本人からも「医療費のことでは退教互に感謝しています」とコメントをいただいております。



梁川 京子さん  
(胆沢地区)

大正13年9月3日生  
昭和60年3月  
千厩農業高校退職

100歳を祝い教え子から届いた手紙を幾度となく読み返し嬉しげです。

退職後は、和・洋裁の傍ら、高齢者大学で民話の採集、手品と在職中とは全く違う体験にも挑戦しました。

今も2階に寝室を置き、足を鍛え、新聞や民話などの読書が日課となっています。2024年秋の選挙の際にも投票に行き、100歳の記念になりました。と近況などを娘さんよりお知らせいただきました。



高橋 シヅさん  
(盛岡地区)

大正13年9月28日生  
昭和60年3月  
盛岡・繫小学校退職

退職後も、ソフトテニスに俳句、日本画に習字と様々な活動に休む間もなく励み、多くの友人達との交流を楽しみました。

特に大好きな山歩きや山菜とりは、99歳の春まで自分の足で続けました。有意義な日々を過ごされているご様子……ご家族の方からお知らせいただきました。

### 住所・電話番号の変更はありませんか?



退教互事務局へお届けいただいている住所に、現在住まわっていない方や電話が繋がらない方が年々増えており、退教互からの送付書類やお問い合わせができずに大変困っております。

住所・電話番号が変更になった際や施設等に入居された際には**必ず退教互事務局へご連絡**をお願いします。

### あとがき

盛岡では1月に降り積もった雪が春を感じさせるものでしたが、2月から一転寒さが厳しくなり幹線道路以外は除雪が入らず走りにくい状況が続いています。青森県をはじめとして、過去最大の積雪となっている地域が多くあります。雪解けが早く始まって春の訪れの便りが届くことを願うところです。④